

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ハキイ ヤヨイ 波木井 やよい	女	1928   2010	身延町	身延町	『読みきかせのすすめ』 『親子で読みたい絵本300』 『子どもの本棚』	社会科学	1945年、東京都立第一高等女学校卒業。 山梨県に疎開し、山梨師範学校女子部本科に入学。 増穂町・中富町で3年、東京都で25年公立小学校に勤務。 後、公民館、学校等での子どもの本の普及活動に尽力した。 日本子どもの本研究会会員。 (『読みきかせのすすめ』)	『読みきかせのすすめ』(国土社、1994) 『<読みきかせ>ボランティア入門』(国土社、2006) 『親子で読みたい絵本300』(共著、共同通信社、2004) 『授業が生きるブックトーク』(共著、一声社、2007) 『えほん子どものための300冊』(共著、一声社、2004)	『読みきかせのすすめ』 『<読みきかせ>ボランティア入門』 『子どもの本棚』(2011年1月号No.507追悼記事)(山梨県立図書館所蔵) 『山梨日日新聞』(2000.9.18/11面、2008.5.30/21面)	2014/12/12	身延
ハセガワ シンイチ 長谷川 伸一	男	1963   	中富町	身延町	『山梨県人物・人材情報リスト2002』 『山梨日日新聞』	芸術・スポーツ	峡南高校空手部に所属し、3年時に国体で4位入賞。 その後アジア大会で準優勝するなど活躍。 整体治療院を開きながら、空手スクールで指導にあたる。 2002年ブラジルで行われた世界空手選手権男子団体「形の部」に2人の弟と出場、6連覇を達成。 2007年、文部科学大臣表彰。 弟:長谷川克英、行光。 (『山梨県人物・人材情報リスト2002』、『山梨日日新聞』)		『山梨県人物・人材情報リスト2002』 (日外アソシエーツ、2002、p277) 『中富町50年の軌跡』(中富町、2004、p109) 『空手道マガジンJKFan』(新晃社、2004年8月号、表紙・巻頭特集『進化する空手』) 『山梨日日新聞』 (2002.11.24/16面、2007.3.27/14面、2014.7.1/野口賞受賞者、2015.11.1/20面、2017.12.10/23面、2020.9.12/19面) 『朝日新聞』(1998.11.10、山梨版)	2022/11/30	身延
ハセガワ テル 長谷川 テル	女	1912   1947	大原村	大月市	『長谷川テル』 『大月人物伝』 『山梨県人物・人材情報リスト2011』	社会科学 言語	エスペランティスト、反戦活動家。 通称テル子、照子 エスペラント名ヴェルダ・マーヨ。 中国での通名緑川英子。 エスペランティストの中国人劉仁と結婚。中国に渡り抗日・反戦運動に参加、抗日反戦放送のアナウンサーとなる。 1983年中国政府により四豊山合塚陵園「国際主義戦士」テルと劉仁の比翼墓建立 (『長谷川テル』、『大月人物伝』、『山梨県人物・人材情報リスト2011』)	『嵐の中のささやき』(新評論、1980) 『長谷川テル作品集』(亜紀書房、1979)	『長谷川テル』(せせらぎ出版、2007、p306~316、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p337) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株式会社、2008、p2163~220、顔写真あり) 『望郷の星長谷川テルの青春』(TBSブリタニカ、1980) 『嵐の中のささやき』(新評論、1980、p203~206、顔写真あり)	2016/11/18	大月
ハタ タツオ 羽田 辰男	男	1928   2008	富士吉田市	富士吉田市	『山梨県人物・人材情報リスト2013』	社会科学	弁護士。1925年中央大学法学部卒。同年司法試験に合格、検事となる。1970年岐阜地検を最後に退官し、弁護士となる。巨額の顧問料を人権擁護活動や学生のために寄付するなどの活動を行う。1989年には羽田人権文化基金を創設。2009年寄付金をもとに「羽田ブックプレゼント事業」を実施する。(『山梨県人物・人材情報リスト2013』、『山梨日日新聞』)		『山梨県人物・人材情報リスト2013』 (日外アソシエーツ、2012、p47~48) 『山梨日日新聞』(2009.6.24、18面)	2014/11/25	富士吉田

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ハチウダ マサン 羽中田 昌	男	1964   	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト2019』	芸術・スポーツ	サッカー監督。小学校5・6年生の時全国大会優秀選手に選ばれ、中学時代ナショナルトレセンに参加。韮崎高に進学、1年生からレギュラーで活躍し2年連続全国大会準優勝に貢献。プロを志したが1983年交通事故で下半身不随になり車いす生活に。1995年、スペインサッカー協会公認のコーチングスクールに入学。2006年日本サッカー協会S級コーチライセンスを取得。2008～09カマタマーレ讃岐、2012奈良クラブ、2015年東京23FC監督に就任。(『山梨県人物・人材情報リスト2019』)	『みんなの声がかきこえる』(四谷ラウンド、1998)『グラシアス』(四谷ラウンド、1999)『そこからはじまる』(扶桑社、2001)『サッカー監督の流儀』(スキージャーナル、2008)ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p567)『必ず、愛は勝つ!』(戸塚啓/著、講談社、2017)『山梨日日新聞2017.6.1614面』	2020/10/25	韮崎
ハッタ タツヤ 八田 達也	男	1854   1916	鵜飼村	笛吹市	『山梨百科事典』	産業	蚕糸改良家 政治家 (『山梨百科事典』『山梨県人物・人材情報リスト2021』)	『蚕事輯説』(内藤伝右衛門、1886) 『新撰養蚕書』(出版社不明、1894) 『秋蚕と風穴』(山梨蚕友会、1906) 『実験秋蚕飼育法』(明文堂、1912) 『蚕桑要説』(柳正堂、1896)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p753) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p177) 『石和町誌2』(石和町、1991、p349～351) 『東八メモリーズこんなひとがいた。』(東八代広域行政事務組合、2002、p179～188) ほか	2022/11/5	石和
ハナカタ タケオ 羽中田 壮雄	男	1924   2017	福島県	福島県	『甲斐の美術・建造物・城郭』	歴史・地理	1942年、山梨県職員となる。 1960年、山梨県文化財調査委員。 1979年、敷島町文化財審議会会長。 1990年、竜王町文化財保護審議委員。 1999年、勲五等瑞宝章受章。 山梨郷土研究会理事 (『甲斐の美術・建造物・城郭』)	「光照寺と蘇った薬師堂」(『甲斐中世史と仏教美術』名著出版、1994) 『山梨県の近代化遺産』(山梨県教育委員会、1997、分担執筆) 『玉穂町誌』(玉穂町、1997、分担執筆) 『山梨の歴史景観』(山梨日日新聞社、1999、分担執筆) 『山梨県史』文化財編(山梨県、1999、分担執筆) 『山梨県の巨樹・名木100選』(山梨日日新聞社、2001、執筆協力) ほか	『山梨日日新聞』(1999.11.3、5面、2017.12.30、おくやみ) 『甲斐の美術・建造物・城郭』(岩田書院、2002、略年譜p463～467)	2018/11/29	甲府 竜王
ハニハラ イチジヨウ 埴原 一壺	男	1907   1977	白州町	北杜市	『イマジネーション』創刊号	文学	古本業、作家。 芥川賞候補3回。 (山梨文芸協会「イマジネーション」創刊号)	『埴原一壺創作集』(文芸復興社、1968) 『一国一壺ぼろ家の主』(栄光出版社、1977) 『人間地図』(創思社、1969) 『東京湾の風』(栄光出版社、1981)	『「二足の草鞋を履いた」芥川賞候補作家埴原一壺記』(植松光宏、2002) 『イマジネーション』(山梨文芸協会、創刊号、2002.12)	2012/7/14	はくしゅう

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ハニハラ クワジ 埴原 久和代	女	1879   1936	源村	南アルプス市	『山梨県人物・人材情報リスト2019』	芸術・スポーツ	洋画家 甲斐美術協会設立 山梨美術協会結成 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』)		『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p406) 『山梨美術』(山梨美術協会、1977、p12)	2020/10/28	白根
ハニハラ マサナオ 埴原 正直	男	1876   1934	源村	南アルプス市	『駐米大使埴原正直』 『山梨県人物・人材情報リスト2019』	社会科学	外交官、駐米大使 1916年、サンフランシスコ総領事 1919年、外務事務次官 1922年、駐米特命全権大使 1921年、羅馬帝国(ルーマニア国) 皇帝より第一等勲章 1924年、勲一等旭日大綬章ほか (『駐米大使埴原正直』、『山梨県人物・人材情報リスト2019』)		『駐米大使埴原正直』(雨宮正英、2011) 『「排日移民法」と闘った外交官』 (チャオ埴原美鈴共著、藤原書店、2011) 『日本近現代人名辞典』(臼井勝美 ほか編、吉川弘文館、2001、p837～ 838) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p39)	2020/10/28	白根
ハマダ ショウゾウ 浜田 彰三	男	1944   	富士吉田市	富士吉田市	『山梨県人物・人材情報リスト2004』	芸術・スポーツ	彫刻家。 1966年から岡崎市の石工師のもと で修行。 1971年、富士吉田市にアトリエを開 設し、本格的に活動を始める。みさ か桃源郷公園、忍野村水番小屋、 富士吉田市庁舎前、東京都江戸川 区の親水緑道などにも多くの作品 が設置される。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2004』)	『やさしさの石たち』(浜田彰三石 彫、光村印刷、1995)	『山梨県人物・人材情報リスト2004』 (日外アソシエーツ、2003、p304) 「浜田彰三ホームページISHIBORI」 <a href="http://www.hamadashozo.com/">http://www.hamadashozo.com/</a> (2023.2.22確認)	2023/2/22	富士吉田
ハヤカワ リツグ 早川 徳次	男	1881   1942	浅間村	笛吹市	『山梨百科事典』 『山梨県人物・人材情報リスト 2011』	産業	日本初の地下鉄を創設。 東京地下鉄株式会社を設立、鉄道 業界に大きな偉業を残す。 (『山梨百科事典』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞、 1989、p761) 『東八メモリーズこんなひとがいた』 (東八代広域行政事務組合、2002、 p189) 『山梨「人物」博物館』(丸山文芸学 芸図書、1992、p152) 『郷土史にかがやく人々集編Ⅳ』 (社団法人青少年育成山梨県民会 議、1997、p111) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、P342～343) 『パンフレットで読み解く東京メトロ 建設と開業の歴史』(実業之日本 社、2014、P33、P42) 『夢の地下鉄冒険列車』(1990、くも ん出版、名前の表記:徳次(リツグ)) 『笛吹市ふるさとの偉人』(笛吹市教 育委員会・笛吹市ふるさとの偉人選 考委員会、2017)『日本の鉄道をつ くった人たち』(悠書館、2010、P231)	2022/9/21	一宮

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ハヤシ イヱ 林 市江	女	1931 	甲府市	甲府市	『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』	文学	歌人。 1970年、短歌研究新人賞受賞。 1985年、潮音賞受賞。 (『やまなし・女性の文学』)	『銀漢頌』(白玉書房、1978) 『あたたかき闇』(不識書院、1988)	『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』(山梨県立文学館、1999、p49)	2018/11/28	甲府
ハヤシ シゲマツ 林 茂松 (初代)	男	1909   1973	甲府市	甲府市	『山梨百科事典』	芸術・スポーツ	陶芸家。初代。 京都国立陶磁器試験所専修科卒業。陶彫を沼田一雄などに師事。 1932年から韮崎市穴山村に窯場を開設。能穴焼と命名。能穴三彩の特徴をもつ。 1952年、全国陶芸展入選。 1953年、第9回日展に初入選。以後、日展を中心に活躍する。 1972年、勲五等瑞宝章、県政功労者の表彰を受ける。 (『山梨百科事典』) 『中央線』創刊号～11号の表紙を飾る。嘯月美術館(南アルプス市)に多数収蔵。 (『山梨「人物」博物館』)	『中央線創刊号、3～11号』(中央線社、1968年～1974年、表紙の陶彫) 『中央線同上号に詩・随筆』(中央線社、1968年)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p761) 『韮崎市誌中巻』(韮崎市誌編集委員会、1979、p723) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1992、p216) 『中央線第11号(追悼特集)』(中央線社、1974、p.17～61)	2018/11/27	甲府 韮崎
ハヤシ タツト 林 立人	男	1933 	東京都	東京都	『詩集<モリ>』	文学	詩人。 日本現代詩人会会員、日本文芸家協会会員。 2000年北杜市明野町に仕事場を構える。 (『詩集<モリ>』)	詩集『ツエツペリン』(詩学社、1970) 詩集『棺応答集』(花神社、1978) 『詩集<モリ>』(花神社、2004) CD『詩<モリ>を読む』(GroupVEL A、2006)	『清流』(清流出版、2006年12月号、p14～15) 『山梨日日新聞』(2006.1.26、11面)	2023/3/1	明野
ハヤシ マリコ 林 真理子	女	1955 	山梨市	山梨市	『山梨県人物・人材情報リスト2004』	文学	小説家、エッセイスト。 2000年～直木賞選考委員。 コピーライターを経て人気エッセイストの地位を確立。 1986年『最終便に間に合えば』『京都まで』で第94回直木賞受賞。 1995年『百連れんれん』で第8回柴田錬三郎賞受賞。 1998年『みんなの秘密』で第32回吉川英治文学賞を受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』『やまなし・女性の文学』)	『ルンルン症候群』(角川書店、1983) 『最終便に間に合えば』(文芸春秋、1985) 『本を読む女』(新潮社、1990) 『百連れんれん』(中央公論社、1994) 『文学少女』(文芸春秋、1994) 『素晴らしき家族旅行』(毎日新聞社、1994) 『不機嫌な果実』(文芸春秋、1996) 『みんなの秘密』(講談社、1997) 『葡萄物語』(角川書店、1998) ほか	『山梨の女性作家たち』(ふじざくら会、1997、p41～45) 『やまなし・女性の文学』(山梨県立文学館、1999、p62～67) 『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2003、p308)	2009/1/30	山梨

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ハヤシヤ ショウシヤク 林家 正雀	男	1951 	大月市	大月市	落語協会ホームページ 『正雀芝居ばなし』 『大月人物伝』	芸術・スポーツ	落語家落語協会所属。 本名井上茂。 山梨県立都留高等学校在学中、落語研究会を設立。 1974年、「八代目林家正蔵」(林家彦六)に入門。 1979年第8回NHK新人コンクール最優秀賞。 1982年八代目正蔵没後、橘家文蔵一門に。 1983年真打昇進。 1996年、芸術選奨大衆芸能部門新人賞。 (落語協会ホームページ、『正雀芝居ばなし』、『大月人物伝』)	『正雀芝居ばなし』(立風書房、1993) 『師匠の懐中時計』(うなぎ書房、2000) 『増補師匠の懐中時計』(うなぎ書房、2003) 『彦六覚え帖』(うなぎ書房、2012)	一般社団法人落語協会ホームページ <a href="https://rakugo-kyokai.jp/">https://rakugo-kyokai.jp/</a> (2022/10/19確認) 林家正雀公式サイト <a href="https://60momc.wixsite.com/shoujyaku">https://60momc.wixsite.com/shoujyaku</a> (2022/10/19確認) 『正雀芝居ばなし』(著者紹介欄、顔写真あり) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株式会社、2008、p225~228) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p346~347)	2022/10/19	大月
ハヤノ アスサ 早野 梓 (サウトシオ)	男	1946 	栃木県	栃木県	『幸福の遺伝子』 『ちよっとミステリー』	文学	作家(ペンネーム:早野梓、サウトシオ)(株)ファナック(本社所在地:忍野村)労組役員(山梨日日新聞1994.11.10)	『富士・青木ヶ原樹海事件簿』(批評社、1996)『幸福の遺伝子』(新潮社、1998)『ちよっとミステリー』(批評社、1994)『青木ヶ原樹海を科学する』(批評社、2006) ほか	『ちよっとミステリー』(サウトシオ、批評社、1994)山梨日日新聞(1994.11.10、1998.5.16、2013.10.5)	2022/7/31	おしの
ハラダ ココ 原田 琴子	女	1889   1925	愛知県名古屋	愛知県名古屋市	『富沢町誌』	文学	歌人。 文芸誌「明星」などに投稿し与謝野鉄幹や晶子などの選に入ったり「青鞥」にも寄稿し活躍。 夫の出身地である万沢村へ移住。 (『富沢町誌』下巻)、『「青鞥」人物事典』)	『ふるへる花』(水の原社1987復刻)	「蔭の薔薇」(「明星(第2次)」1巻1号、新誌社、1921.10) 「山の日」(「明星(第2次)」1巻2号、新誌社、1921.12) 「峡谷より」(「明星(第2次)」1巻3号、新誌社、1922.1) 『冬の峡谷』(調まどか著、水の原社、1990) 『富沢町誌下巻』(富沢町役場、2002、p416) 『「青鞥」人物事典—110人の群像—』(らいてう研究会編著、大修館書店、2001、P140)	2023/3/1	南部

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ハラダ ジュウゾウ 原田 重三	男	1921   2006	竜王町	甲斐市	「山梨日日新聞」 『脱走』	文学	日本文芸家協会、日本ペンクラブ会員。 山梨文芸協会副会長、山梨同人誌 懇話会座長、中村星湖文学賞選考 委員、山梨芸術文化協会委員、「作 家」地区委員。 「すばる」文芸誌主宰。 (『脱走』)	『忘却の丘』(甲陽書房、1978) 『梟の脱走』(近代文芸社、1994) 『認識票一女の戦記一』(東京図書 出版会、1999) 『脱走』(山梨ふるさと文庫、2004) 『「作家」に関わった山梨の文人た ち』(季刊作家社、2005) 『サンカの墓』(山梨ふるさと文庫、 2006) ほか	『脱走』(奥付) 「山梨日日新聞」(2006.6.13、11面)	2014/11/27	竜王
ハラダ ヨシキヨ 原田 義清	男	1914   1997	双葉町	甲斐市	『双葉町の俳句考』	文学	豊岡村・登美村農会勤務 山梨県庁職員・技手、技師 双葉町選挙管理委員会長 (『双葉町の俳句考』)	『双葉町の俳句考』(原田義清、 1999)		2018/11/18	双葉
ハン ユカ 判 泰	男	1910   1997	河口村	富士河口湖町	『浅間神社正史』	歴史・地 理	元河口浅間神社宮司。 郷土研究者。 (『浅間神社正史』)	『浅間神社正史』(浅間神社、1983)		2012/8/16	富士河口湖
ヒガイ センゾウ 樋貝 詮三	男	1890   1953	勝沼町	甲州市	『山梨百科事典』	社会科学	政治家 1946年衆議院議長 1949年国務大臣 小川正子元夫 (『山梨百科事典』)	『海の慣習法』(良書普及会、1943) 恩給法原論(巖松堂書店、1922) 新恩給法釈義(良書普及会、1923) ほか	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p768) 『郷土史にかがやく人々・集合編 II』(青少年のための山梨県民会 議、1980、p241～) 『政治家学人樋貝詮三先生を讃う』 (樋貝詮三先生胸像建設委員会、 1972)	2012/8/21	塩山
ヒグチ アキオ 樋口 明雄	男	1960   2011	山口県	山口県	『クライム』	文学	作家、山梨県自然監視員。 (『クライム』) 『約束の地』、第27回日本冒険小説 協会大賞、第12回大藪春彦賞をダ ブル受賞(『目の前にシカの鼻息』)	『戦場は、フリーウェイ』(双葉社、 1987) 『狼は眠らない』(角川春樹事務所、 2000) 『クライム』(角川春樹事務所、 2006) 『約束の地』(光文社、2008) 『ミッドナイト・ラン!』(講談社、 2011) ほか	『ミステリアス・ジャム・セッション』 (早川書房、2004、p112～119) 『クライム』(著者略歴) 『目の前にシカの鼻息』(フライの雑 誌、2011)	2012/7/14	はくしゅう

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヒグチ イチヨウ 樋口 一葉	女	1872   1896	東京	東京都	『山梨百科事典』	文学	作家 (『山梨百科事典』) 青海学校小学高等科第四級を首席で卒業 歌人中島歌子の「萩の舎塾」へ入る (『新潮日本文学アルバム樋口一葉』) 両親は中萩原村(現在の甲州市出身)	『一葉全集』(筑摩書房、1954) 『現代日本文学全集第9巻』(改造社、1927) 『全集樋口一葉』(小学館1979) 『樋口一葉小説集』(筑摩書房、2005) 『日本現代文学全集第3巻』(講談社、1977)	『新潮日本文学アルバム3樋口一葉』(新潮社、1985) 『樋口一葉と甲州』(甲陽書房、1989) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p773) ほか	2012/8/21	塩山
ヒグチ フジオ 樋口 富士雄	男	1942 	増穂町	富士川町	『山梨自然の極』	自然科学・医学	山梨自然監視員(1985～2001年) 富士山五合目周辺自然解説員(1994年～) (『山梨自然の極』)	『山梨自然の極』(山梨日日新聞社、2007)	『山梨自然の極』(奥付) 『山梨日日新聞』(2007.7.25、18面)	2014/11/27	竜王
ヒグチ マサカズ 樋口 雅一	男	1946 	谷村町	都留市	『萬画堂』だより (本人ホームページ)	芸術・スポーツ	アニメーターとしてタツノコプロ、虫プロを経てフリーに。『ムーミン』、 『まんが日本昔ばなし』ほかのTVアニメ番組で監督・演出・作画を務めたのち、単行書を主とするマンガ家となる。 (『萬画堂』だより)	『マンガ聖書物語(旧約篇・新約篇)』(講談社、1998) 『マンガグリム童話』(講談社、2003) 『マンガメディチ家物語』(講談社、2005) 『まんがキリスト教の歴史(前・後篇)』(いのちのことば社、2006・2008) 『グリム童話(コミック版)』(大和書房、2007) 『マンガ聖書物語イエスの弟子たちとパウロ』(いのちのことば社、2009)	『まんがキリスト教の歴史前篇』(2006、著者紹介) 『『萬画堂』だより』(ブログ) <a href="http://d.hatena.ne.jp/manga-do/about">http://d.hatena.ne.jp/manga-do/about</a> (2012.8.9確認)	2020/10/10	都留
ヒコ オクラ 飛児 おくら	男	1954 	山梨県	山梨県	『山梨日日新聞』 『少年のひ』	文学	甲斐市在住。 40代からミステリー小説を書く。	『少年のひ』 (文芸社、2021)	『山梨日日新聞』 (2021.9.14、13面、顔写真あり)	2022/11/30	敷島

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヒダ ケイコ 妣田 圭子	女	1912   2011	大阪府	大阪府	『山梨県人物・人材情報リスト2004』	芸術・スポーツ	草絵の創始者。書家。舞踊家。翻訳家。実業家としても幅広く活躍。妣田豊原塾主催。1982年、生活の拠点を山梨市に移す。(『山梨県人物・人材情報リスト2004』)	『ひとりごつインカ』(柏書房、1976) 『草絵宗教画によるいのち生きる私たち』(山雅房、1978) 『見えないものをみる目』(希望社、1983) 『ナラ王物語』(翻訳、サンスクリット・サロン、1983) 『草絵第1～3巻』(京都書院、1989) 『創り出すところ』(日本教文社、1991) 『心経百話』(東方出版、1993) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2004』 (日外アソシエーツ、2003、p314)	2022/11/27	山梨
ヒハラ ムゲン 日原 無限	男	1885   1930	塩山市	甲州市	『山梨百科事典』 『山梨文芸の研究』 『山梨県アララギ系物故歌人伝』	文学	歌人 本名は文蔵(ブンゾウ) 地方回りの芝居、浪曲、歌舞、曲芸、奇術などの演劇 塩山藤木の龍光院に歌碑建設 (山梨日日新聞1990.9.119面)	『日原無限歌集』	『山梨百科事典』(p778) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 『山梨文芸の研究』『山梨県アララギ系物故歌人伝』 山梨日日新聞2000.10.1712面 山梨日日新聞1990.9.119面	2016/11/30	塩山
ヒヤッキマル 百鬼丸	男	1951   	富士吉田市	富士吉田市	『山梨日日新聞』	芸術・スポーツ	挿絵画家、切り絵画家。 東洋大学工学部建築科卒。 1978年、切り絵の創作活動に入る。単行本・文庫本のカバー画等の挿絵を担当。埼玉県在住。 (『山梨県人物・人材情報リスト2007』)	『お帰りにさい朝青龍』(内館牧子著、朝日新聞社、2008) 『歌舞伎ギャラリー50』(田口章子編著、学研、2008) 『休眠用心棒』(森村誠一著、中央公論社、2008) 『五万両の茶器』(小杉健治著、光文社、2008) 『孤狼江戸を奔る』(松本茂樹著、広済堂出版、2008) ほか(挿絵)	『山梨県人物・人材情報リスト2007』 (日外アソシエーツ、2006、p266) 『山梨日日新聞』(2002.7.14、4面) 「百鬼丸ホームページ」 <a href="http://www.hyakkimaru.com/">http://www.hyakkimaru.com/</a> (2014.11.25確認)	2014/11/25	富士吉田
ヒラガ ジュン 平賀 淳	男	1978   2022	双葉町	甲斐市	『山と渓谷2022年10月号』 P124-130ハンター北壁夢の伴奏者「夢を実現できた陰には、つねに心を鼓舞し続ける存在があった。平賀淳に捧げるレクイエム」	芸術・スポーツ	登山家、山岳カメラマン。 韮崎高校山岳部出身。1996年インターハイ登山競技で全国優勝。日本映画学校(現・日本映画大学)に進学。在学中にアドベンチャーレーサーとして、エクアドルやニュージーランド、中国での大会に出場した。2003年から山岳カメラマンとしてヒマラヤ山域を撮影。2007年にはエベレスト山頂からの撮影に成功した。また、NHKの番組『グレートトラバース』と『グレートレース』の山岳映像を手掛けた。2022年アラスカ山中で滑落死。	<書影撮影図書>小林元喜『さよなら、野口健』(集英社インターナショナル、2022) 野口健『登り続けるということ。』(学研プラス、2021) 神山典士『地球を走った人間寛平アースマロン』(ヨシモトブックス、2011) 野口健『自然と国家と人間と』(日本経済新聞出版社、2009) 野口健『確かに生きる落ちこぼれたら這い上がればいい』(集英社文庫、2009) 野口健『あきらめないこと、それが冒険だ』(学研プラス、2006)	山本健一「平賀淳という男1」 <a href="https://full-marks.com/yamaken/2022/06/05/平賀淳という男%E3%80%801/">https://full-marks.com/yamaken/2022/06/05/平賀淳という男%E3%80%801/</a> 山本健一「平賀淳という男2」 <a href="https://full-marks.com/yamaken/2022/06/16/平賀淳という男%E3%80%802/">https://full-marks.com/yamaken/2022/06/16/平賀淳という男%E3%80%802/</a> 光電子アウトドアカメラマン平賀淳 vol.01 <a href="https://corp.goldwin.co.jp/kodenshi/archive/hiraga.html">https://corp.goldwin.co.jp/kodenshi/archive/hiraga.html</a> 光電子アウトドアカメラマン平賀淳 vol.02 <a href="https://corp.goldwin.co.jp/kodenshi/archive/hiraga02.html">https://corp.goldwin.co.jp/kodenshi/archive/hiraga02.html</a>	2022/10/16	韮崎



氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヒラガ フミオ 平賀 文男	男	1895   1964	穂坂村	韭崎市	『山梨県人物・人材情報リスト2019』	芸術・スポーツ	登山家。 生家で農業に従事、県会議員もつとめた。 山を愛し文章をよくし、1922年、南アルプスの甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳、北岳を縦走。 積雪期の南アルプスも踏破、開拓した。 1924年、甲斐山岳会を創立。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』)	『日本南アルプスと甲斐の山旅』(マウンテン、1926) 『日本南アルプス』(博文館、1929) 『ハケ岳火山群』(木星社書院、1932) 『赤石溪谷』(隆章閣、1933) 『中央アルプスと御岳』(大村書店、1936) ほか	『山梨県人物人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p568) 『平賀文男ノート』(樋口清作、白山書房、2007)	2018/11/27	韭崎
ヒラタ センホウ 平田 泉鳳	男	1906   1975	武川村	北杜市	『武川村誌下巻』	社会科学	武川村社会教育委員、教育長を歴任し、昭和36年度県政功績者として表彰。 (『武川村誌下巻』) 郷土民謡縁故節と馬八節の普及宣伝に努力した。 (『文協むかわ創立20周年記念誌』)	「馬八節」(民謡、1934) (『文協むかわ創立20周年記念誌』武川村文化協会、1992、p89~90) 「馬八物語」(『武川の文化財と民謡・伝説・伝記・童謡代1集』、武川村教育委員会、1980、p21~26) 『武川村誌下巻』(武川村、1986、p860~861、p874~876)	『武川村誌下巻』(p536~539) 『文協むかわ創立20周年記念誌』(p100)	2012/7/30	むかわ
ヒラヤマ ユウ 平山 優	男	1964   	東京都	東京都	『真田三代』	歴史・地理	東京都出身。立教大学大学院修了。専攻は日本中世史。山梨県埋蔵文化財センター文化財主事、山梨県史編さん室主査、山梨大学非常勤講師、山梨県教育庁学術文化財課主査、山梨県立博物館副主幹を経て、現在は山梨県立中央高等学校教諭。南アルプス市在住 『真田三代』(PHP研究所、2011)	『戦国大名領国の基礎構造』(校倉書房、1999) 『武田信玄』(吉川弘文館、2006) 『山本勘助』(東京、2006) 『検証長篠合戦』(吉川弘文館、2014) 『山梨「地理・地名・地図」の謎』(実業之日本社、2015) 『真田三代の挑戦』(NHK出版、2016) 『真田一族』(サンニチ印刷、2016) 『武田氏滅亡』(KADOKAWA、2017) ほか	「山梨日日新聞」(2000.7.1、19面、2014.11.14、12面、2017.3.22、15面、2017.5.28、20面、2019.1.25、13面、2019.4.26、13面、顔写真あり、2019.9.8、24面、2019.12.6、13面顔写真あり、2020.10.28、8面、顔写真あり)	2020/10/28	櫛形
ヒロセ ゲンキョウ 廣瀬 元恭	男	1821   1870	藤田村	南アルプス市	『山梨百科事典』 『郷土史にかがやく人々集合編Ⅲ』 『コンサイス日本人名事典』	自然科学・医学	医師、蘭学者。 京都に蘭学塾時習堂を開く。 伊勢国津藩の医員。 官軍病院の初代院長。 天然痘の絶滅を期して西洋の諸書を研究した。学問の幅が広く、医学のほか、洋式兵学・築城・砲術に通じる。 (『山梨百科事典』『郷土史にかがやく人々集合編Ⅲ』『コンサイス日本人名事典』)	『新訂牛痘奇法』(広瀬元恭校、絵入本、1849) 『知生論』(広瀬元恭天目訳、幕末期生理学書、1856) 『西医脈鑑』(広瀬元恭訳、時習堂、1857) 『人身窮理』(広瀬元恭再訳、時習堂蔵版、1855)ほか	『知られざる蘭医の夢ー広瀬元恭の生涯』(加藤雅彦著、近代文藝社、1993) 『京都時習堂ー幕末の蘭医広瀬元恭の生涯』(鬼丸智彦著、アーカイブス出版、2008) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1972、p663) 『郷土史にかがやく人々集合編Ⅲ』(青少年のための山梨県民会議、1987、p255~275) 『コンサイス日本人名事典第4版』(三省堂、2001、p1109) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p463)	2020/10/28	わかかき

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヒロセ ナオ 広瀬 直人	男	1929   2018	一宮町	笛吹市	『山梨県人物・人材情報リスト 2021』	文学	俳人 『白露』主宰 1968年山廬賞(第4回)受賞 NHK全国俳句大会選者、やまなし 文学賞実行委員、山日芸文俳句選 者 (『山梨県人物・人材情報リスト 2021』)	『婦路』(雲母社、1972) 『朝の川』(富士見書房、1986) 『暁照』(ウエップ、2004) 『日の鳥』(邑書林、1997) 『矢竹』(花神社、2002) 『風の空』(角川書店、2008) 『飯田龍太の俳句』(花神社、1985) 『俳句実作入門』(富士見書房、 1993)『廣瀬直人全句集』(角川文化 振興財団、2020)ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、P346～ 347) 『新訂現代日本人名録④』(日外ア ソシエーツ、p17) 『作句の現場』(角川文芸出版、 2007) 『山梨日日新聞』(2008.10.11、15面) 『山梨日日新聞』(2008.11.26、13 面)	2022/10/13	石和
ヒロセ ワイク 廣瀬 和育	男	1849   1925	藤田村	南アルプス市	『山梨百科事典』	社会科学	貴族院議員、第十銀行頭取。 賞付会社釜石社を設立。書画に 優れる。 (『山梨百科事典』)	『山梨大弐先生事蹟考』(広瀬和育 共著、山梨県教育会、1931) 『訳文柳子新論』(広瀬和育共編、 広瀬和育、1924、山梨県立図書館 蔵)ほか	『山梨百科事典』(山梨日日新聞 社、1972、p664) 『図説韮崎・巨摩の歴史』(郷土出版 社、2000、p210、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p22、72)	2020/10/28	わかくさ
ピンナカ シゲミチ 備仲 臣道	男	1941   	朝鮮	韓国	『美は乱調にあり、生は無限 にあり』 『内田百閒我楽多箱』	歴史・地 理	1941年、朝鮮忠清南道大田生ま れ。 1945年、日本の敗戦により帰国、尾 道を経て山梨へ。 1959年、山梨県立甲府第一高校 卒。 山梨時事新聞に入社し記者となる。 同労働組合書記長。 1982年、月刊「新山梨」を創刊、編 集発行人となる。 1993年、同誌を134号まで発行して 休刊。 2009年、国立市へ転居。 2002年、「メロンとお好み焼き」で第 6回岡山・吉備の国内田百閒文学賞 優秀賞を受賞。 (『内田百閒我楽多箱』) 美術団体「猿の会」事務局長。 (『美は乱調にあり、生は無限にあ り』)	『千塚物語』(花郷堂書林、1979) 『蘇る朝鮮文化』(明石書店、1993) 『輝いて生きた人々』(山梨ふるさと 文庫、1996) 『美は乱調にあり、生は無限にあり』 (批評社、2006) 『司馬遼太郎と朝鮮』(批評社、 2007) 『坂本龍馬と朝鮮』(かもがわ出版、 2010) 『内田百閒我楽多箱』(皓星社、 2012)『坂本篤艶本狂詩曲』(皓星 社、2016)	『美は乱調にあり、生は無限にあり』 (批評社、2006、奥付) 『内田百閒我楽多箱』(皓星社、 2012、奥付)	2014/11/27 2022/11/07	竜王

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
カサワ イシミ 深沢 泉	男	1909   1998	中富町	身延町	『中富町誌』 『甲州方言』 『山梨日日新聞』	言語	戦前山梨県公立小中学校・山梨師範訓導・教諭。 派遣された中国で日本中学校の教諭を勤める。 帰国後は山梨県立高校教諭、山梨大学教授。 産経新聞山梨版に甲州方言解説を掲載。 NHKラジオ『甲州百話』で、民話等の脚本を担当。 1970年『唐以王』で旺文社学芸コンクール文部大臣賞。 山梨方言研究会会員。 (『甲州方言』)	『山梨県政六十周年誌』(山梨県、1952、p1415～) 『甲州方言』(甲陽書房、1976) 『唐似王』(旺文社、1970)	『中富町誌』(中富町誌編纂委員会、1971、p1034) 『甲州方言』(奥付) 『山梨日日新聞』 (1989年連載「甲州弁の風景」 1.16/1.23/2.20/2.27/3.27/4.10/4.17/ 4.24/5.8/6.5/6.19/、 1998.6.17、16面、1998.6.24、16面 1998.12.30/12面)	2022/11/30	身延
カサワ カンコウ 深澤 完興	男	1936   2019	長坂町	北杜市	『昭和町誌』	文学	元教員 2005年1月「歌会始の儀」入選 西条小学校校歌作詞 常永小学校校歌作詞 元昭和町立図書館館長 元北杜市立たかね図書館館長 元昭和町教育長	『雪ふれ降り深澤完興句集』(半熟、2007) 『百日紅真つ赤深澤完興第二句集』(半熟、2008) 『まほろば深澤完興歌集』(文芸書房、1998) 『ちちはは深澤完興歌集』(深澤完興、1983) 『ことばの学習としての単元の誕生』/編(東洋館出版社、1993) 『考える力を育てる説明文の指導』/編(東洋館出版社、1994)	『昭和町誌』(1990、P1081)	2022/8/31	昭和
カサワ キッペイ 深沢 吉平	男	1885   1957	甲西町	南アルプス市	『郷土研究こうさい20号』	社会科学	酪農の先覚者。 明治36年、一家で北海道音江村(現深川市)に入植。30歳で音江村の村長になり、その後、衆院議員、北海道製酪販売連合会理事、北海道興農公社社長などを歴任。(『郷土研究こうさい20号』)		『郷土研究こうさい20号』(南アルプス市文化協会甲西地区郷土研究部、2004、p10)	2012/8/21	甲西
カサワ シロウ 深沢 七郎	男	1914   1987	石和町	笛吹市	『山梨県人物・人材情報リスト2021』 『山梨百科事典』	文学	小説家 1956年『榎山節考』で中央公論新人賞受賞 1965年「ラブミー農場」を開く 1980年『みちのくの人形たち』が川端康成文学賞に選ばれるが辞退 1981年『みちのくの人形たち』で谷崎潤一郎賞受賞 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』『山梨百科事典』)	『榎山節考』(新潮社、1977) 『みちのくの人形たち』(中央公論社、1980) 『笛吹川』(中央公論社、1958) 『甲州子守唄』(読売新聞社) 『生きているのはひまつぶし』(光文社、2005) 『盆栽老人とその周辺』(文芸春秋、1973)『榎山節考/東北の神威たち 深沢七郎短篇集』(中央公論社、2014) ほか	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p794) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p347～349) 『東八メモリーズこんなひとがいた。』(東八代広域行政組合、2002、p201～214) 『深沢七郎ラプソディ』(福岡哲司著、TBSブリタニカ、1994) 『深沢七郎の文学』(山梨県立文学館、2011) ほか	2022/10/13	石和

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
フカサワ タツト 深澤 竜人	男	1964 	山梨県	山梨県	『市民がつくる半自給農の世界』	産業	明治大学政治経済学部兼任講師、山梨学院大学経営情報学部非常勤教員、産業能率大学兼任教員。半農半X実践・研究者。 (『市民がつくる半自給農の世界』)	『市民がつくる半自給農の世界』(農林統計協会、2014)		2014/11/14	昭和
フカサワ ナオト 深澤 直人	男	1956   □	甲府市	甲府市	「山梨日日新聞」 「深澤直人/プロダクトデザイナー—NaotoFukasawaDesign」	芸術・スポーツ	プロダクトデザイナー。 甲府工業高校、多摩美術大学卒。 国内外のプロジェクトを多数手掛ける日本のトップデザイナーとして活躍する。 2007年、ロイヤルデザイナー・フォー・インダストリー(英国王室芸術協会)の称号を授与。 グッドデザイン賞審査委員長(2010～2014年)。 日本民藝館5代目館長。 多摩美術大総合デザイン学科教授。 良品計画デザインアドバイザーボード、マルニ木エアートディレクターなども務める。 2018年、イサム・ノグチ賞受賞。 (「山梨日日新聞」)	『デザインの輪郭』(TOTO出版、2005) 『AMBIENT』(現代企画室、2017) 『ふ・つう』 (D&DEPARTMENTPROJECT、2020) ほか	「山梨日日新聞」(2012.7.11、26面顔写真あり、2017.8.24、13面顔写真あり、2018.5.24、24面顔写真あり) 「深澤直人/プロダクトデザイナー—NaotoFukasawaDesign」 <a href="https://naotofukasawa.com/ja/about/">https://naotofukasawa.com/ja/about/</a> (2022.09.07)	2022/9/30	甲府
フカサワ ヨシモリ 深沢 義守	男	1905   1966	身延村	身延町	『身延町誌』 『山梨百科事典』	社会科学	日本大学在学中から農民運動に参加。全国農民組合全国会議派県連書記長となる。 1932年、「共産党事件」で投獄。 1945年、社会党県連組織部長、日本農民組合県連書記長となる。 1949年、日本共産党入党。県内初の共産党代議士となる。日本農民組合中央委員として活動するが、党と対立し離党。後、首都圏住宅生活共同組合常任理事。 (『身延町誌』『山梨百科事典』)	『八人の同志の手記—私はなぜ共産党に入ったのか』(解放社、1949、p175～202) 『農民運動研究』(農民運動研究会、1957)	『山梨思想運動史』(山梨思想問題研究所、1950、p48、63、75、144～) 『身延町誌』(身延町誌編集委員会、身延町役場、1970、p1182) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p795) 『女性が主役戦前山梨の労働運動史』(山寺勉、1990、p568～) 『近代日本社会運動史人物大事典4』(日外アソシエーツ、1997、p85) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2011、p367) 『山梨新報』(2000.2.12、8面) ほか	2014/12/12	身延

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
フカダ キウヤ 深田 久弥	男	1903   1971	石川県	石川県	『山梨百科事典』	芸術・スポーツ 文学	作家、登山家。 「文学界」同人として文学活動を始める。 太平洋戦争後は山登りを再開。 1966年、トルコから中央アジアを経てソ連まで踏査。日本山岳会山梨支部会員らとともに韮崎市から茅ヶ岳へ登山中、山頂付近で脳卒中のため倒れる。 (『山梨百科事典』) 韮崎市では、深田記念公園を設置し、記念碑を建立。氏の遺徳をしるぶ「深田祭」を毎年実施している。 (「韮崎市観光協会」ホームページ)	『日本百名山』(新潮社、1964) 『わが山山』(改造社、1934) 『シルクロードの旅』(朝日新聞出版、1978) 『山の文学全集』(朝日新聞社、1974) 『深田久弥の山がたり』1～3(二見書房、2000) ほか	『世界山岳百科事典』(山と溪谷社、1971、p612) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p795) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1992、p205) 『深田久弥その山と文学』(近藤信行、平凡社、2011) 『山ありて、わが人生は楽し』深田久弥を偲んで『韮崎市2021年「深田久弥と穴山町」』穴山町ふるさとの風土を次世代に「推進委員会2022年 「韮崎市観光協会」ホームページ <a href="http://www.nirasaki-kankou.jp/?page_id=254">http://www.nirasaki-kankou.jp/?page_id=254</a> (2018.11.27確認) ほか	2022/11/30	韮崎
フカオ テツシ 福岡 哲司	男	1948   2015	甲府市	甲府市	『近代山梨の光と影』 『本の本』 「山梨日日新聞」	文学	県立高校教諭、山梨県立図書館長、作家。 近代文学史、近代思想史、国語教育専攻。 1994年『深沢七郎ラプソディ』が第3回開高健賞(奨励賞)、1995年第9回中村星湖文学賞(特別賞)受賞。 平成20年度甲府市民文化奨励賞受賞。 (『近代山梨の光と影』『山梨県人物・人材リスト2023』『山梨日日新聞』)	『深沢七郎ラプソディ』(TBSブリタニカ、1994) 『遠い散歩近い旅』(山梨ふるさと文庫、2003) 『近代山梨の光と影』(山梨日日新聞社、2006) 『樋口一葉日記全釈若葉かげ』(「文芸思潮」第9号、アジア文化社、p190～203) ほか	『山梨県人物・人材リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p368) 『山梨日日新聞』(2006.7.8、15面、2009.1.29、17面、2015.7.22、27面、2015.12.18、15面、写真あり) 『福岡哲司の遠い散歩近い旅・猫町文庫店』 <a href="http://ccnet.easymyweb.jp/member/fukuoka/">http://ccnet.easymyweb.jp/member/fukuoka/</a> (2023/2/23確認、最終記事日付2015/1/22)	2023/2/23	県立
フクダ キネオ 福田 甲子雄	男	1927   2005	白根町	南アルプス市	『花曇』 『山梨県人物・人材情報リスト2019』	文学	俳人。 「白露」同人。飯田蛇笏・龍太親子に師事。 1969年第5回山廬賞受賞、2002年第26回野口賞、2004年第38回蛇笏賞、山梨県文化省特別賞受賞、2003年白根町特別功労者表彰。 (『花曇』)	『曇火』(雲母社、1971) 『飯田蛇笏』(桜楓社、1973) 『白根山麓』(邑書林、1982) 『盆地の灯』(角川書店、1992) 『肌を通して覚える俳句』(朝日新聞社、1999) 『飯田龍太の四季』(富士見書房、2001) 『草虱』(花押社、2003) 『蛇笏・龍太の旅心』(山梨日日新聞社、2003) 『師の掌』(角川書店、2005) 『福田甲子雄全句集』(ふらんす堂、2018) ほか	『花曇』(福田甲子雄展実行委員会、2011、p118～119) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p346) 『福田甲子雄全句集』(ふらんす堂、2018、p259～290) 『福田甲子雄の世界』(「俳句研究」第63巻2号、富士見書房、1995、p15～58) 『福田甲子雄『盆地の灯』』(「俳句」第42巻5号、角川書店、1993、p164～182) 『追悼・福田甲子雄』(「俳句朝日」通巻125号、朝日新聞社2005、p38～43) 『山梨日日新聞』(2005.4.26、10面、19面、2005.4.30、10面、2018.10.13、14面、顔写真あり)ほか	2020/10/28	白根

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
フクタ シュウジ 福田 修二	男	1951 	白根町	南アルプス市	『山梨日日新聞』 『山梨県人物・人材情報リスト 2019』	産業	山梨県白根町(現南アルプス市)出身。 山梨県立巨摩高等学校を経て、福島大学卒業。 昭和49年(1974)小野田セメント(現太平洋セメント)入り。執行役員などを経て平成22年(2010)8月から取締役常務執行役員。平成24年(2012)4月から代表取締役社長。 『山梨日日新聞』(2012.2.298面)2018年から会長。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』)		『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p150) 『週刊ダイヤモンド』(ダイヤモンド社、4436号) 『財界』(財界研究所、1518号) 『山梨日日新聞』(2012.2.298面、2013.2.98面)	2020/10/28	白根
フジマ イサム 藤嶋 勇	男	1931 	清哲村	韮崎市	『山菜の絵本』	産業	山梨県農業改良普及員、野菜・花き専門技術員、山梨県農業試験場八ヶ岳分場場長、農業改良普及所所長などを歴任。タラノメなど山菜の園芸科研究を続け全国の山菜栽培普及に尽力。(『山梨県人物・人材情報リスト2000』)山菜類の園芸化をはかり、経営・技術の普及に努めた(『山菜の絵本』)	『タラノメ』(農山漁村文化協会、1997年) 『山菜の絵本』(農山漁村文化協会、2010)	『山梨県人物・人材情報リスト2000』 (日外アソシエーツ、2000、p327)	2020/10/25	韮崎
フジタニ ミサオ 藤谷 みさを	女	1901   1984	山口県	山口県	『山梨の女性作家たち』	歴史・地理 文学	教員、史学者、随筆家。 1927年結婚して春日居町に居住。 1940年東京日日新聞が皇紀二千六百年記念事業で募集した論文に一等当選し、50万部を突破するベストセラーとなる。 1951～1954年徳富蘇峰『近世日本国民史』の口述筆記をつとめる。 (『山梨の女性作家たち』)	『皇国二千六百年史』(大阪毎日新聞社、1940、県立図書館所蔵) 『蘇峰先生の間像』(明玄書房、1958、県立図書館所蔵) 『あしのうら』(金剛出版、1964、県立図書館所蔵) 『一期一会』(野ばら社、1969) 『こぶしの花』(野ばら社、1971、県立図書館所蔵) 『次善を生きる』(風濤社、1980、県立図書館所蔵) 『老人ホームの四季』(社会保険出版社、1983、県立図書館所蔵)	『山梨の女性作家たち』(ふじざくらの会、1997、p48～55) 『甲斐路ふるさとの文学散歩』(山梨日日新聞社、1989、p57)	2022/10/22	春日居
フジハラ ミル 藤原 実	男	1974 	甲府市	甲府市	『現代オタク用語の基礎知識』 『山梨日日新聞』	社会科学	会社経営者。 2009年『現代オタク用語の基礎知識』発刊。 (『山梨日日新聞』) 女性オタク向け古典朗読CD企画制作販売を手掛ける。 (『知っているだけで恥ずかしい現代オタク用語の基礎知識』) 2013年、藤原実税理士事務所設立。 (『藤原実税理士事務所』ホームページ)	『現代オタク用語の基礎知識』(ディスカヴァー・トゥエンティワン、2009) 『萌えビジネスに学ぶ「顧客を熱中させる」技術「売れない時代」の新しいマーケティング論』(中経出版、2012) 『まいにち見るのに意外と知らないIT企業が儲かるしくみ』(技術評論社、2014)	『山梨日日新聞』(2009.8.2、12面) 『藤原実税理士事務所』ホームページ <a href="https://www.morestartups.net/">https://www.morestartups.net/</a> (2022.9.8確認)	2022/9/30	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
フジマキ アイコ 藤巻 愛子	女	1940 	塩山市	甲州市	『かみず』 『藤巻愛子が語る山梨のむかし話と伝説』	芸術・スポーツ 言語 文学	山梨むかしがたりの会主宰 日本民話の会会員 日本民話研究会会員 民話と文学の会会員 (『藤巻愛子が語る山梨のむかし話と伝説』)	『藤巻愛子が語る山梨のむかし話と伝説』(甲州民話房、2005) 『かみず』(藤巻愛子、2008) 『昔話ふるさとへの旅』CD(キングレコード、2005) 『甲州弁いろはカルタ』CD(榊苗木の村、2004)	『藤巻愛子が語る山梨のむかし話と伝説』 『かみず』	2012/8/21	塩山
フジマキ カイイチロウ 藤巻 嘉一郎	男	1872   1946	清哲村	韭崎市	『甲斐路の夜明け「信玄旗掛松事件」とその社会的背景』	社会科学	明治法律学校卒業。 判検事登用試験に合格、司法官試験に任命され検事代理として岐阜区裁判所に赴任。 1900年12月、甲府地方裁判所の判事として赴任。 1908年、弁護士を開業 1914年、甲府弁護士会の会長に選出。 1917年1月、「信玄旗掛松事件」の訴訟代理人となり、甲府地方裁判所へ提訴。 翌1918年1月、原告側の勝訴となる。その後東京控訴院、大審院でも原告が勝訴して確定。 1931年、弁護士を廃業して公証役場を開く。 (『甲斐路の夜明け「信玄旗掛松事件」とその社会的背景』)		『甲斐路の夜明け「信玄旗掛松事件」とその社会的背景』(新藤東洋男、創研出版、1990、p136～p188) 「甲斐路」第72号(山梨郷土研究会、1992) 「山梨日日新聞」(2018.10.10、18面、写真あり)	2018/11/27	韭崎
フジマキ カメキチ 藤巻 亀吉	男	1852   1916	南部町	南部町	『南部地区における明治の群像』	産業	地方開発の業績により日本で17番目の緑綬褒章授与。 1877年、西八代郡第21学区学務員。 1893年、栄銀行(興農社)頭取就任。 1896年、県議会議員に当選以来32年間、県政に尽力。 (『南部地区における明治の群像』)		『改訂南部町誌下巻』(南部町、1999、p396) 『南部地区における明治の群像』(渡辺修孝著、渡辺修孝、2000、p11)	2012/8/14	南部

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
フジマキ リョウタ 藤巻 亮太	男	1980 	御坂町	笛吹市	「レミオロメン公式サイト」	芸術・スポーツ	2000年に結成したバンド、「レミオロメン」のボーカル・ギター。 2003年、1stMiniAlbum『フェスタ』でインディーズデビュー。レコード店のインディーズチャートで上位をマークする。 同年2ndSingle『電話』でメジャーデビュー。2005年にリリースされた8thSingle『粉雪』が大ヒット。 2006年8月、山梨県日本航空学園(甲斐市)にて史上初の滑走路ライブを開催し、3万人を動員。 2012年2月活動休止 (レミオロメン公式サイト) 2012年2月Single「光をあつめて」でソロデビュー。同年10月にはソロ1stAlbum「オオカミ青年」をリリース。 2018年から山中湖交流プラザきららで、野外音楽フェス「Mt.FUJIMAKI」を主催。(「山梨日日新聞」)	Single 「粉雪」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGU MO2005) 「茜空」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGU MO2007) 「夢の蕾」 (OORONGRECORDS2009)ほか Album 「HORIZON」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGU MO2006) 「風のクロマ」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGU MO2008) 「レミオベスト」 (OORONGRECORDS2009)ほか ソロSingle 「光をあつめて」ほか ソロAlbum 「オオカミ青年」 「旅立ちの日」 「日日は好日」ほか	「レミオロメン公式サイト」 <a href="http://www.remioromen.jp/">http://www.remioromen.jp/</a> (2022.10.8確認) 『テレビ・タレント人名事典』第6版(日外アソシエーツ、2004、p995～996) 「H」(ロッキング・オン、2006年9月号、p12～29) 『レミオロメン物語』(本郷陽二、汐文社、2007) 「藤巻亮太オフィシャルサイト」 <a href="https://www.fujimakiryota.com/">https://www.fujimakiryota.com/</a> (2022.10.8確認) 山梨日日新聞(2018.6.26、2020.8.24他)	2022/10/8	御坂
フジモト シュン 藤本 俊	男	1950 	広島県	広島県	「山梨日日新聞」 『山梨県人物・人材情報リスト2019』	芸術・スポーツ	中央市在住。モンリオール五輪体操男子団体総合金メダリスト、山梨大学名誉教授。 紀陽銀行を経て1976年1月山梨大学助手となる。同年夏のモンリオール五輪で団体総合優勝。 2017年国際体操殿堂入り。スポーツ功労賞、日本スポーツ賞、朝日賞、山梨県体育協会体育功労者	『男子・体操競技(鞍馬・平行棒編)』(泰流社、1978)	「山梨日日新聞」(2017.7.1、p41) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p282、p573)	2020/10/23	田富
フジワラ ヒサコ 藤原 緋沙子	女	不詳	高知県	高知県	『雁の宿』 『菜の花の道』	文学	小説家・脚本家。 高知県生まれ。立命館大学文学部史学科卒業。 小松左京主宰「創翔塾」出身。 2009年3月より笛吹市在住。 テレビドラマ「暴れん坊将軍」「はぐれ刑事純情派」などの脚本を手掛ける。 2013年「隅田川御用帳」シリーズで第2回歴史時代作家クラブ賞シリーズ賞受賞。 (『雁の宿』、『菜の花の道』、「広報ふえふき」2010年9月号・2013年1月号、「産経ニュース」ホームページ)	○隅田川御用帳シリーズ 『雁の宿』(広済堂出版、2002) 『秋の蟬』(光文社、2018)ほか ○藍染袴お匙帖シリーズ 『風光る』(双葉社、2005) 『色なき風』(双葉社、2021)ほか ○見届け人秋月伊織事件帖シリーズ 『遠花火』(講談社、2005)ほか ○切り絵図屋清七シリーズ 『ふたり静』(文藝春秋、2011)ほか 『恋の櫛』(新潮社、2018) 『ほたる茶屋』(KADOKAWA、2020) 『岡っ引黒駒吉蔵』(文藝春秋、2022) 『菜の花の道』(KADOKAWA、2022) 『永代橋』(光文社、2022) ほか	「山梨日日新聞」(2010.10.30、11面) 「広報ふえふき」(2010年9月号、p37・p39、2013年1月号、p28) 「産経ニュース」(2013.5.27) <a href="http://www.sankei.com/life/news/130527/lif1305270031-n1.html">http://www.sankei.com/life/news/130527/lif1305270031-n1.html</a> (2022.8.27確認)	2022/10/13	春日居



氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
フワラ ヨシアキ 藤原 義章	男	1942 	秋田県	秋田県	『リズムはゆらぐ』	芸術・スポーツ	ヴァイオラ奏者・指揮者 (『リズムはゆらぐ』) 南アルプス市在住	『リズムはゆらぐ』(白水社、1990) 『新しいアンサンブル入門』(春秋社、1992) 『ヴァイオリンとヴァイオラの小百科』(春秋社、1999) 『美しい演奏の科学』(春秋社、2006)	『山梨日日新聞』 (2006.2.18、15面、2008.8.4、16面)	2023/3/9	櫛形
フミタ ケンイチロウ 文田 健一郎	男	1995 	韮崎市	韮崎市	『山梨県人物・人材情報リスト2019』	芸術・スポーツ	レスリング選手(グレコローマン)。 2010年、全国中学生選手権優勝。 2011～2013年、韮崎工業高校在学中 全国高校生グレコローマン選手権と 国体グレコローマンで3連覇。 日体大に進み、2014年世界ジュニア 選手権60キロ級出場。 2015年、全日本選手権と国体を制す。 2017年、アジア選手権優勝、全日本 選手権2連覇。初出場の世界選手権 で金メダル。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) 2017年、韮崎市民栄誉賞受賞。 (『広報にらさき』) 2018年、第42回野口賞受賞。 (『山梨日日新聞』) 2021年、東京2020オリンピック競技 大会レスリング男子グレコローマン 60キロ級銀メダル(『広報にらさき』)		『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p573) 『広報にらさき』(2018年10月号) 『山梨日日新聞』(2018.7.1、52面、 写真あり) 『広報にらさき』(2021年9月号、写 真あり)	2022/11/30	韮崎
フルヤ カズオ 古屋 和雄	男	1949 	小立村	富士河口湖町	『世代を超えて』	社会科学	早稲田大学経済学部卒業後、1972 年NHK入局、テレビ・ラジオの情報 系を中心に活躍。 (『世代を超えて』)	『愛されたい症候群』(講談社、1986) 『余った人生なんてない』(かもがわ 出版、1998) 『おくればせながら男の出番です』 (旬報社、1992) 『優しく「老い」をみつめたい』(かも がわ出版、1990) 『くやし涙うれし涙神戸』(PHP研究 所、1996)	『愛されたい症候群』(講談社、 1986、奥付) 『余った人生なんてない』(かもがわ 出版、1998、奥付)	2012/8/16	富士河口湖
フルヤ カネオ 古屋 兼雄	男	1920   2010	甲西町	南アルプス市	『甲府盆地に残る虚構と真 実』『山梨日日新聞』	歴史・地理	軍籍4ヶ月の後、甲西町議会議員 当選2期、甲西町民生委員長、甲 西町消防団長、甲西町選挙管理委 員長、甲西町文化協会会長、中巨 摩郡郷土研究部事務局長等(『甲府 盆地に残る虚構と真実』)	『富田城の発見』(富田城顕彰会 1977) 『武田意外史』(近代文藝社1994) 『甲府盆地に残る虚構と真実』(やま なしふるさと文庫2008)	『甲府盆地に残る虚構と真実』(やま なしふるさと文庫、2008、奥付) 『山梨日日新聞』(2010.11.1020面)	2013/1/19	甲西

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
フルヤゴロウ 古屋 五郎	男	1910   1995	菅原村	北杜市	『白州町誌』 『南十字星の下に』	文学 社会科学	初代白州町長 県町村会長 全国町村会常任理事 県農業構造改善審議会議長 県農業合併促進審議会議長 県農林統計会長 砂防協会会長 河川協会会長 日本赤十字山梨支部副支部長 国立公園協会県支部長 (『白州町誌』『南十字星の下に』)	『甲斐路ふるさとの文学散歩』 (山梨日日新聞社、1989) 『南十字星の下に』(新聞春秋社、1964) 『南方第九陸軍病院南十字星の下に』(ほるぶ出版、1989)	『白州町誌』(白州町、1986、p1445) 『南十字星の下に』(新聞春秋社、1964、p239)	2013/1/30	はくしゅう
フルヤ トクヘエ 古屋 徳兵衛	男	1849   1911	上教来石 村	北杜市	『松屋一五〇年史』	産業	1869年横浜で鶴屋呉服店を開業。 1889年東京神田の松屋呉服店を買 取し、1907年百貨店(現在の松屋)と する 「バーゲンデー」の生みの親 (『松屋一五〇年史』、		『松屋一五〇年史』(松屋2019、p21 ～) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞 社、1989、p827) 「山梨日日新聞」(2020.8.4、17面、 顔写真あり)	2020/10/23	はくしゅう
フルヤ ヒサアキ 古屋 久昭	男	1943 	御坂町	笛吹市	『古屋久昭詩集』	文学	詩人 山梨県詩人会の理事長、会長など を務める 日本現代詩人会が主催する、第72 回「H氏賞」の選考委員長 (『古屋久昭詩集』『山梨県人物・人 材情報リスト2021』)	『三色隣り合わせ』(美和草舎、 1993) 『虫らしく花らしく』(美和草舎、1996) 『日用散策』(山梨ふるさと文庫、 2004) 『古屋久昭詩集』(土曜美術社出版 販売、2015) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p350) 『朝日新聞』(2022、2/24)	2022/10/13	石和
ホウシヨウ ユウコ 北条 裕子	女	1985 	白根町	南アルプス市	『山梨日日新聞』	文学	山梨学院高、青山学院大第二経済 学部卒業 2018年4月、『美しい顔』で第61回群 像新人賞を受賞し、作家デビュー。 『山梨日日新聞』(2018.6.1822面)	『美しい顔』(「群像」第73巻6号、講 談社、2018) 『美しい顔』(講談社、2019)	「群像」(第73巻6号、講談社、2018、 p6～85) 「山梨日日新聞」(2018.6.18、22面、 顔写真あり、2018.5.18、12面、顔写 真あり、2018.7.12、29面、顔写真あ り、2019.5.17、12面、顔写真あり、 2019.6.19、12面、顔写真あり)	2020/10/28	白根

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ポール ホリウチ ポール 堀内	男	1906   1999	大石村	富士河口湖町	『富士北麓と文人たち』	芸術・スポーツ	画家。コラージュ作家。 1955年全米タッパウエアコンペ賞、 1960年フォード財団賞、1970年各州 一人の年間政府賞をはじめ30賞以上。 1968年ワシントン州ビュージッド・サ ウンド大学名誉博士、1976年勲4等 瑞宝章、1979年セント・マーチン大 学名誉博士。 (『富士北麓と文人たち』)		『富士北麓と文人たち』(内藤成雄、 ぎょうせい、1986、p267～283) 『雪解流』(6号、p55～65) 『山梨県立美術館蔵品抄』(山梨県 立美術館、1978、p130)	2012/8/16	富士河口湖
ホカ カズシ 保坂 和志	男	1956 	増穂町	富士川町	『ザやまなし』 『山梨県人物・人材リスト 2023』	文学	小説家。 1993年『草の上の朝食』が野間文芸 新人賞受賞。 1995年『この人の闘』が第113回芥 川賞受賞。 1997年『季節の記憶』が第25回平林 たい子文学賞(小説部門)、第33回 谷崎潤一郎賞受賞。 (『小説、世界の奏でる音楽』) 2013年『未明の闘争』が第66回野間 文芸賞受賞。 2018年『こことよそ』(『ハレルヤ』収 録)が第44回川端康成文学賞受 賞。 (『山梨県人物・人材リスト2023』)	『草の上の朝食』(講談社、1993) 『この人の闘』(新潮社、1995) 『季節の記憶』(講談社、1996) 『カンバセーション・ピース』(新潮社、 2003) 『小説の誕生』(新潮社、2006) 『三十歳までなんか生きるな』と 思っていた』(草思社、2007) 『小説、世界の奏でる音楽』(新潮 社、2008) 『未明の闘争』(講談社、2013) 『ハレルヤ』(新潮社、2018) 『猫がこなくなった』(文藝春秋、 2021) ほか	『山梨日日新聞』(2018.4.13、26面、 写真あり) 『ザやまなし』(山梨日日新聞社、 1995年9月号、p2～3) 『山梨県人物・人材リスト2023』(日 外アソシエーツ、2022、p369～370)	2023/2/23	県立
ホカ カナイ 保坂 嘉内	男	1896   1937	駒井村	韮崎市	『山梨県人物・人材情報リスト 2019』	文学	詩人。 宮沢賢治の親友。 1916年、旧制甲府中学から盛岡高 等農林学校に進み、寮で1年先輩 の詩人・宮沢賢治と同室になる。 以来、文芸同人誌「アザリア」を発 行するなど親交を深める。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2019』) 1918年、除名処分を受け、帰村。宮 農のかたわら、農村青年を指導す る農業伝習所設立に尽力。 賢治の遺品や手紙を嘉内の生家に 残す。 (『韮崎市誌』)		『韮崎市誌中巻』(韮崎市誌編纂委 員会、1979、p712) 『韮崎市誌下巻』(韮崎市誌編纂委 員会、1979、p431) 『宮沢賢治友への手紙』(筑摩書房、 1979) 『宮沢賢治の青春』(菅原千恵子著、 宝島社、1994) 『心友-宮沢賢治と保坂嘉内』(山梨 ふるさと文庫、2007) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p348)ほ か	2018/11/27	韮崎
ホカ コウ 保坂 耕	男	1960 	韮崎市	韮崎市	『21世紀—山梨の100人』	産業	ブドウ農家。 農協指導員として地区のブドウ栽培 を見たのち、自らの畑で栽培。 (『21世紀—山梨の100人』) 韮崎市観光協会会長。 (『韮崎市第3期まちなか活性化計 画』)		『21世紀—山梨の100人』(山梨新報 社、2002、p12)	2018/11/27	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ホサカ コウジン 保坂 耕人	男	1909   2003	竜王村	甲斐市	『山梨県人物・人材情報リスト 2021』	文学	歌人。 本名、保坂農康。 甲府中時代から作歌をはじめ、 1932年「心の花」に入会。 佐佐木信綱、治綱、幸綱に師事。 「炎樹」主宰。「甲府なぎの会」代 表。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2021』)	『一隅』(甲陽書房、1965) 『岫』(短歌新聞社、1979) 『風炎』(短歌新聞社、1984) 『風』(なごらみ書房、1994) 『風塵抄』(なごらみ書房、1988) 『保坂耕人全歌集』(なごらみ書房、 2015)	『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p352) 『山梨日日新聞』(2006.12.1、22面、 2003.6.24、10面、2003.6.21、27面、 2015.9.4、13面)	2022/9/30	甲府
ホサカ コロキチ 保坂 吾良吉	男	1920   2005	山梨県	山梨県	『双葉町百話集』	歴史・地 理社会科 学	元双葉町文化財審議会 長 県文化財保護指導員 県史編纂協力者 2003年県文化奨励賞受賞(『双葉 町百話集』)	『双葉町の石造物』(双葉町石造物 誌編集委員会、1992) 『双葉町とところどころ』(保坂吾良 吉、1997) 『双葉町百話集』(保坂吾良吉、 2004)	山梨日日新聞(2003.11.12、20面) 山梨日日新聞(2004.8.4、22面)	2018/11/18	双葉
ホサカ サシ 保坂 聡	男	1944   	竜王町	甲斐市	『山梨日日新聞』	産業	飲食店経営	『竜王駅物語』(保坂聡、2006)	『山梨日日新聞』(2006.2.9、15面)	2014/11/27	竜王
ホサカ ツネオ 保坂 庸夫	男	1926   2016	韮崎市	韮崎市	『宮澤賢治友への手紙』	自然科 学・医学 文学	医学博士。 旧韮崎外科病院(現韮崎相互病院) 院長。 (『宮澤賢治友への手紙』) 保阪嘉内次男。 父親保阪嘉内と宮澤賢治との交友 の足跡を賢治から送られた73通の 手紙をもとに研究し『宮澤賢治友へ の手紙』を出版、多数の論文、寄稿 文を著す。 (『保阪嘉内・宮澤賢治アザリア記 念会会報第15号』)	『宮沢賢治友への手紙』(筑摩書房、 1979) 『心友宮沢賢治と保阪嘉内』(山梨 ふるさと文庫、2007)	『宮沢賢治友への手紙』(筑摩書房、 1979) 『花園農村の理想をかかげて』(アザ リア記念会、2009)	2018/11/27	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ホサカ トコロウ 保坂 徳五郎	男	1923   2005	双葉町	甲斐市	『走馬灯の独白』	文学	元サントリー山梨ワイナリー職員 山梨県自然保護監視員 山梨県・県政モニター(『土魂の四季』)	『土魂の四季』(保坂徳五郎、1984) 『走馬灯の独白』(保坂徳五郎、1993)		2018/11/18	双葉
ホサカ ナオミツ 穂坂 直光	男	1847   1920	大草村	韮崎市	『韮崎市誌』	自然科学 ・医学 社会科学	1897年ごろ、甘利山が薪とりなどで丸裸になっているのを憂い、大草町に六反歩の苗圃を設ける一方県当局に補助金を申請、1915年までの10年間松苗をはじめ杉、唐松、栗を植林した。 幼木の生育期間の10年間は村民の入山を禁止し厳しく監視させた。昭和3年山梨県山林会から林業功労者として表彰された。 1953年には山梨時事新聞にて「上水道建設に一役三十年前の功績実る」との記事が掲載されるに至る。(『韮崎市誌』)		『韮崎市誌下巻』(韮崎市誌編集委員会、韮崎市、1979、p430) 『甘利山に木を植えた穂坂直光さん』(韮崎ふるさと偉人研究会、韮崎市ふるさと偉人資料館、2020)	2022/11/30	韮崎
ホサカ ノオ 保坂 紀夫	男	1940   2017	甲斐市	甲斐市	『変幻の竹』『山梨県人物・人材情報リスト2021』	芸術・スポーツ	造形作家。 保坂耕人の長男。 保坂デザイン研究所所長。 (『変幻の竹』) 竹造形作家、工業デザイナー。 美術館「保坂紀夫竹の造形館」開館。東京芸術大学で日本初の竹の美術講義を行って以来各地でワークショップなどを続ける。愛知県芸術大学非常勤講師、東京芸術大学、武蔵野美術大学特別講師。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) 2014年、第38回野口賞(芸術・文化部門)受賞。 (「山梨日日新聞」)	『変幻の竹』(六耀社、1999) 『自在の竹』(日貿出版社、2016)	『変幻の竹』(六耀社、1999) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p414) 「山梨日日新聞」(2014.7.1、59面、2017.9.29、14面) 「保坂紀夫竹の造形美術館」 <a href="http://www.bambooart.jp/">http://www.bambooart.jp/</a> (2022.9.8確認)	2022/9/30	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ホリカワ シュウネン 細川 秀年	男	1934 	香川県	香川県	『21世紀-山梨の100人』	芸術・スポーツ	陶芸家。 21歳の時京都市・清水焼の大家、 故清水六兵衛に弟子入りする。日 展をはじめ、各種陶芸展での入選 は限らない。 富士吉田市上吉田に富士山秀年窯 を設置。富士山の土を使った陶芸 作品を制作している。 (『21世紀-山梨の100人-』)		『21世紀-山梨の100人』(山梨新報 社、2002、p72~73)	2014/11/25	富士吉田
ホリカワ ヒデオ 細川 英雄	男	1949 	東京	東京	『自分の<ことば>をつくる』	言語	1949年東京生まれ。早稲田大学名 誉教授(大学院日本語教育研究 科)。博士(教育学)。 専門は言語文化教育。言語文化 教育研究所八ヶ岳アカデミア主 宰。ことばと文化の教育をめぐる市 民性形成とwell-being(よく生き る)をめざした言語教育の理論と実 践について研究。 1989年『パリの日本語教室から』で ヨゼフ・ロゲンドルフ賞受賞。 1991年~白州町花水在住。 (『自分の<ことば>をつくる』)	『パリの日本語教室から』 (三省堂、1987)、 『薪ストーブのある暮らし』 (筑摩書房、1995)、 『日本語教育は何をめざすか』 (明石書店、2002)、 『対話をデザインする』 (筑摩書房、2019)、 『自分の<ことば>をつくる』 (ディスカヴァー・トゥエンティワン、 2021) ほか多数	『自分の<ことば>をつくる』 (奥付) 『山梨日日新聞』 2020.2.289面、 2021.12.225面 2022.3.417面 <a href="http://gbki.org/">http://gbki.org/</a> (2022.11.15確認)	2022/11/17	はくしゅう
ホリダ サダノ 細田 さだの	女	1871   1905	小田川村	韮崎市	『峡北地方物故文化人集』	社会科学	明治27年国本女学校を創立。 もつばら裁縫と家政を教授する。 (『峡北地方物故文化人集』)		『峡北地方物故文化人集』(堀内 【リュウ】一郎、1961、p25) 『韮崎の礎を築いた偉人たち2巻』 (韮崎ふるさと偉人研究会、2018、 p2) 『峡北女子教育の先駆者細田さだ の』(韮崎ふるさと偉人研究会、 2021)	2022/11/30	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ホリ シュウセイ 堀 秀成	男	1819   1887	茨城県古河市	茨城県古河市	『葦崎の礎を築いた偉人たち～近世・近代を生き抜いた先人たちの行動～』 『葦崎市誌下巻』	社会科学	「峡北地方に学問の種を蒔き、教育の礎を築いた男」(『葦崎の礎を築いた偉人たち』) 文政2(1819)年12月6日、江戸の古河藩井家の江戸屋敷で生まれる。幼少期は武士として山鹿流兵学などを学び、弓や槍、乗馬いずれも免許皆伝の腕前であった。安政3(1856)年37歳の時、穴山の石水の城源院で長養義塾を開く。山梨にいる10年間で700名に及ぶ弟子を指導する。弟子には栗原信近、伊藤松逕や八代駒雄など。明治3(1870)年、朝廷に徴され、大学少博士に任ぜられ、同5年御前に進講、その後、神官教院教授に任ぜられる。生涯の著者130部を超える。 『葦崎の礎を築いた偉人たち～近世・近代を生き抜いた先人たちの行動～』	『音義全書上下』堀秀成遺著神宮奉斎会編輯神宮奉斎会1913 『神名考』堀秀成著穂出版1944 『日本随筆大成第1期4』日本随筆大成編輯部編吉川弘文館1975堀秀成著他 『日本随筆大成2期第11巻』日本随筆大成編輯部編纂日本随筆大成刊行会1929下馬おとなひ堀秀成著 その他	『葦崎の礎を築いた偉人たち～近世・近代を生き抜いた先人たちの行動～』第1巻葦崎ふるさと偉人研究会 // 編2016.3P.6 『葦崎市誌下巻』葦崎市誌編纂専門委員会 // 編集葦崎市役所P.440 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社編・発行1989)(p854) 『江戸文人辞典:国学者・漢学者・洋学者』(石山洋ほか編東京堂出版1996年)(p343-344) 『国書人名辞典』第4巻(市古貞次ほか編岩波書店1998)(p332-333) 『日本人名大事典』第5巻(平凡社1979)(p531-532) 『神道史大辞典』(園田稔編吉川弘文館2004年)(p887) 『神道人名辞典』(神社新報社1986年)(p267) 『平安時代史事典』本編下巻(古代学協会編角川書店1994年)(p2328) 『国学者伝記集成』第2巻(大川茂雄編国本出版社1934年)(p1564-1575)	2020/10/25	葦崎
ホリウチ ケイジ 堀内 啓治	男	1875   1945	富士吉田市	富士吉田市	『山梨百科事典』	社会科学	代議士。 1907年、県会議員に当選。 1912年、衆議院に当選。 福地村(富士吉田市)長、富士吉田市外2ヶ村恩賜県有財産保護組合長、福地村耕地整理組合長を歴任。このほか宮川電灯社長、饒益銀行、吉田銀行頭取として富士北麓の経済発展に尽力した。 (『山梨百科事典』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p853)	2014/11/25	富士吉田
ホリウチ サチエ 堀内 幸枝	女	1920   2021	御代咲村	笛吹市	『山梨興信録』 『山梨県人物・人材情報リスト2011』	文学	詩人 詩誌「葡萄」主宰 日本現代詩人会、日本ペンクラブ、日本文芸家協会所属 日本現代詩人会名誉会員	『夢の人に』(1975無限) 『市之蔵村』(1985文京書房) 『堀内幸枝詩集』(1989土曜美術社) 『九月の日差し』(1997思潮社) 『村のたんぼぼ』(1991三茶書房) 『堀内幸枝全詩集』(2009沖積舎)	『山梨興信録』(山梨日日新聞社、1979、p727) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p394) 『堀内幸枝全詩集』(沖積舎、2009、p869～900) 『「山の少女」と呼ばれた詩人堀内幸枝ノート』(鈴木正樹著、土曜美術社出版販売、2020) 「山梨日日新聞」(2021.10.30、31面) 「山梨日日新聞」(2021.11.12、13面)	2022/10/13	一宮

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ホリウチ ショウト 堀内 昭登	男	1949 	大石村	富士河口湖町	『四季のハーブ』	産業	1968年河口湖町職員に、1990年河口湖町ふるさと振興財団に出向、河口湖ハーブ館館長。 (『四季のハーブ』) 2009年から河口湖町議会議員(「山梨日日新聞」)	『四季のハーブ』(山梨日日新聞社、1994)	『四季のハーブ』(山梨日日新聞社、1994、奥付) 「山梨日日新聞」(2009.10.5、1面)	2012/8/16	富士河口湖
ホリウチ リョウヘイ 堀内 良平	男	1870   1944	黒駒村	笛吹市	『山梨百科事典』 『山梨県人物・人材情報リスト2013』	社会科学	1912年、富士身延鉄道(身延線)を創立。小野金六を社長に迎え、常務取締役となる。1918年、東京市街自動車株式会社を創立、専務取締役。1926年、富士山麓電気鉄道株式会社、富士山麓土地株式会社を設立、取締役社長。1930年から衆院議員となり、当選3回、民政党に属した。 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』、『富士北麓と文人たち』)		『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1993、p135) 『富士北麓と文人たち』(内藤成雄著、ぎょうせい、1986、p360~375) 『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p26) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p854) 『富士を拓く-堀内良平の生涯-』(塩田道夫著、堀内良平伝刊行委員会、1994)	2014/11/25	富士吉田
ホリコメ ユウキ 堀米 勇輝	男	1992   □	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト2021』 「山梨日日新聞」	芸術・スポーツ	山梨学院大附属高校卒業。 ヴァンフォーレ甲府ジュニアユースからユースチームに昇格。高い技術と優れた戦術眼で早くから評価される。 2010年、トップチームに昇格。 2013年ロアッソ熊本、2014年愛媛FCに期限付き移籍、2016年京都サンガに移籍。2017年にヴァンフォーレ甲府に復帰、2019年にジェフユナイテッド市原・千葉に移籍。 U-16、U-17、U-19の各年代で日本代表に選ばれ、2009年U-17W杯に出場。 2015年より、甲府大使。 2022年1月サガン鳥栖に移籍 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) (「山梨日日新聞」) (「サガン鳥栖OfficialWebSite」)		『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p578) 「山梨日日新聞」(2015.2.12、13面顔写真あり、2015.7.25、23面顔写真あり、2017.2.12、20面顔写真あり、2019.1.10、17面、顔写真あり、2021.12.28、23面顔写真あり) Jリーグ公式選手名鑑 <a href="https://www.jleague.jp/player/1000380/#attack">https://www.jleague.jp/player/1000380/#attack</a> (2022.9.9確認) サガン鳥栖OfficialWebSite <a href="https://www.sagan-tosu.net/team/player/160298/">https://www.sagan-tosu.net/team/player/160298/</a> 堀米勇輝Twitter <a href="https://twitter.com/yuki12137">https://twitter.com/yuki12137</a> (2022.9.9確認)	2023/3/7	甲府



氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ホンジョウ カイヘイ 本庄 魁平	男	1893   1984	河口村	富士河口湖町	『河口湖町文化のあゆみ』	歴史・地理	元河口浅間神社宮司 郷土研究家	『川口村の古事志』(1981) 『富士山明細図』(1978) 「川口村古事1・2・3・4」(「二十一日会」第72号p20、73号p13p、74号p12、75号p22、二十一日会、1979) 「川口村の古代墳墓について」(「富士を守る」第77号p14、二十一日会、1979) ほか	『河口湖町文化のあゆみ』(河口湖町教育委員会、1978、p268顔写真あり)	2012/8/16	富士河口湖